歩く・楽しむ・発見する 日光街道

小金井宿／新田宿／小山宿 Walk 5

徳川家の運命を決めた「小山評定」の地

小山 宿

小山宿は、日光東照宮の造営や参勤交代の整備などにより、日光街道の重要な宿場として発展しました。宿場の中心には、本陣や脇本陣、問屋場などが置かれ、多くの人や物資が行き交いました。

また、小山は江戸から約70km、宇都宮から約27kmの距離にあり、1日目の宿泊地として最適な場所でした。

現在も、当時の面影を残す建物や、歴史を伝える碑などが点在しています。

小山評定

慶長5年（1600年）、徳川家康は会津の上杉景勝を討つために軍を率いて東へ向かいました。その途中、小山に滞在していた家康のもとに、石田三成が挙兵したという知らせが届きました。

家康は、ここで今後の対応を決めるために、諸将を集めて軍議を開きました。これが「小山評定」です。

この軍議で、家康は「上方に戻って三成と戦う」ことを決めました。

この決断は、日本の歴史を大きく変えるものとなりました。

思川合流点

思川は、栃木県日光市の山地を源流とし、南へ流れる川です。

途中で、巴波川と合流し、さらに南へ進んで渡良瀬川に合流します。

合流点は、水量が多く、昔から重要な場所でした。

思川合流点堤防広場

思川と巴波川が合流する地点に整備された広場です。

堤防の上からは、両方の川の流れを一度に見ることができます。

また、広場には芝生があり、休憩や散歩をする人の姿が多く見られます